# 自由が丘駅前実地調査及びポスターセッション企画案【（仮称）えきまえプラス】



## 1．目的

●現在、地元関係者・行政等が一体となって検討している「自由が丘未来ビジョン」では、グランドデザインで提唱される〝自由が丘ならではの魅力ある歩行者環境の形成〟を踏襲しつつ、駅周辺に集まる人々が安全安心で快適に回遊できる、歩行者を主役とした「楽歩地区」の形成促進を明示していくこととしている。

●現在の自由が丘では、季節ごとに女神祭り等の大規模イベントを実施しており、“非日常”の賑わいが創出されている状況にあるが、今後は、市街地再開発事業等によって整備される公共的空間等をまちの賑わいや憩い・楽しみのために創造的に活用していくことが必要であり、現在の駅前広場についても新たな使い方が期待されるところである。

●そのため、女神広場や公衆便所において、〝滞在快適性向上〟に資する取組を実施するとともに、タクシープールを〝交流・対流機会創出〟に活用することで、駅前広場全体の活用による効果や課題の洗い出しを目的としていく。

## 2．取組の考え方

●女神広場・公衆便所については、駅前広場を人が主役となる場としていくための試みとして、自由が丘というまちの醸成に大きく影響している「芸術」に着目した活用を考えていく。

●また、タクシープールについては、車ではなく人が集まる場であることを強調するべく、「自由が丘未来ビジョン」の内容を広く一般にも周知する場としての活用を考えていく。

●総じて、駅前広場を人のための新たな場にするという観点から、**「（仮称）えきまえプラス※」**と称する。

※プラス：フランス語で人々が集まる広場を意味（英語ではプレイス）。現在の駅前広場に新しい活動を加える（＋する）という意図。

## 3．取組内容

**◆タクシープール⇒ポスターセッション＆街なかシンポジウム（「自由が丘未来ビジョン」の広報）**

「自由が丘未来ビジョン」を広く一般に広報するために、ビジョンの内容をポスター化することによるポスターセッションとともに、屋外での公開シンポジウムを実施する。

**◆女神広場⇒アートイベント**

アーティストを招き、アートに関するイベントを実施する。

**◆公衆便所⇒入口部等の美化**

現在の印象を改善する観点と自由が丘における芸術の素養を発信する観点を兼ねて、「目黒区立自由が丘駅公衆便所」の入口部等の美化を試みる。

## 4．取組時期

●女神広場・タクシープール：３／１２（日）13:00～17:00（歩行者天国の実施日）

（11:30～12:00 荷下ろし@女神広場、12:00～13:00 準備@女神広場･タクシープール／17:00～18:00 片付け）

※雨天の場合は、自由が丘商店街振興組合（自由が丘２－１０－８　自由が丘エヌケービル３F）

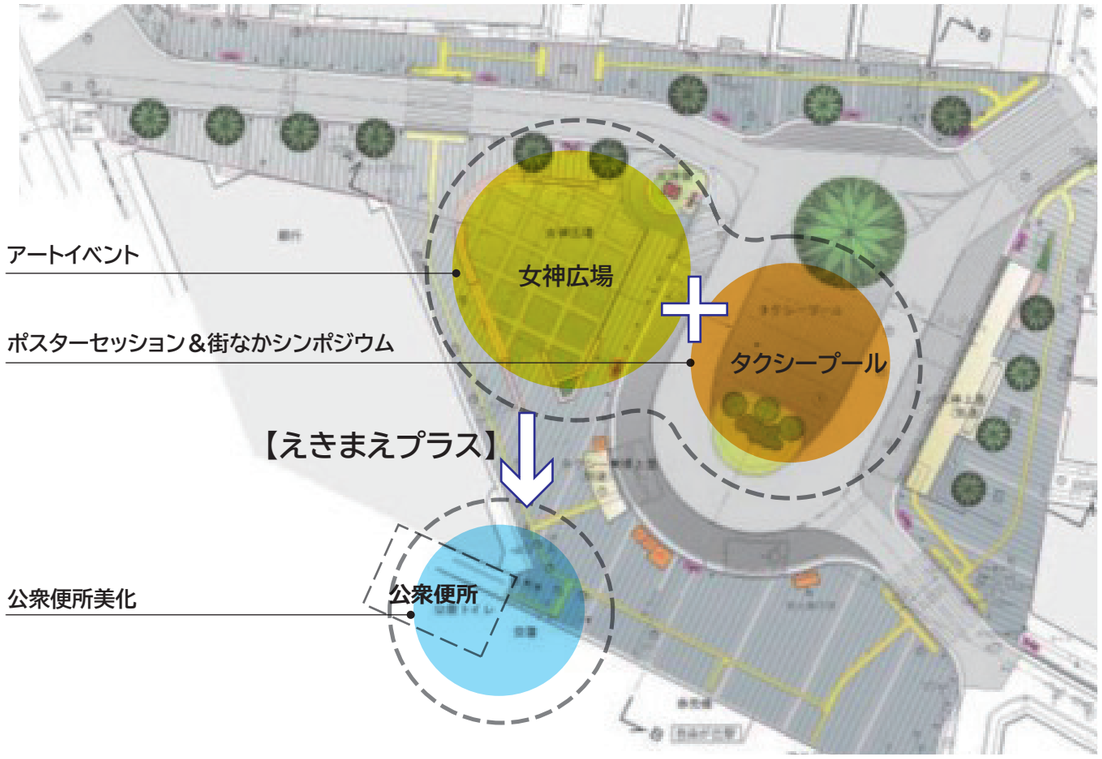
●自由が丘駅前公衆便所：3/12（日）～継続的に実施（予定）

## 5．取組主体

●ポスターセッション＆街なかシンポジウム：目黒区（協力・支援：UG 都市建築）、㈱ジェイ・スピリット

●アートイベント：自由が丘商店街振興組合、㈱ジェイ・スピリット

●公衆便所美化：自由が丘駅前トイレ美化協議会

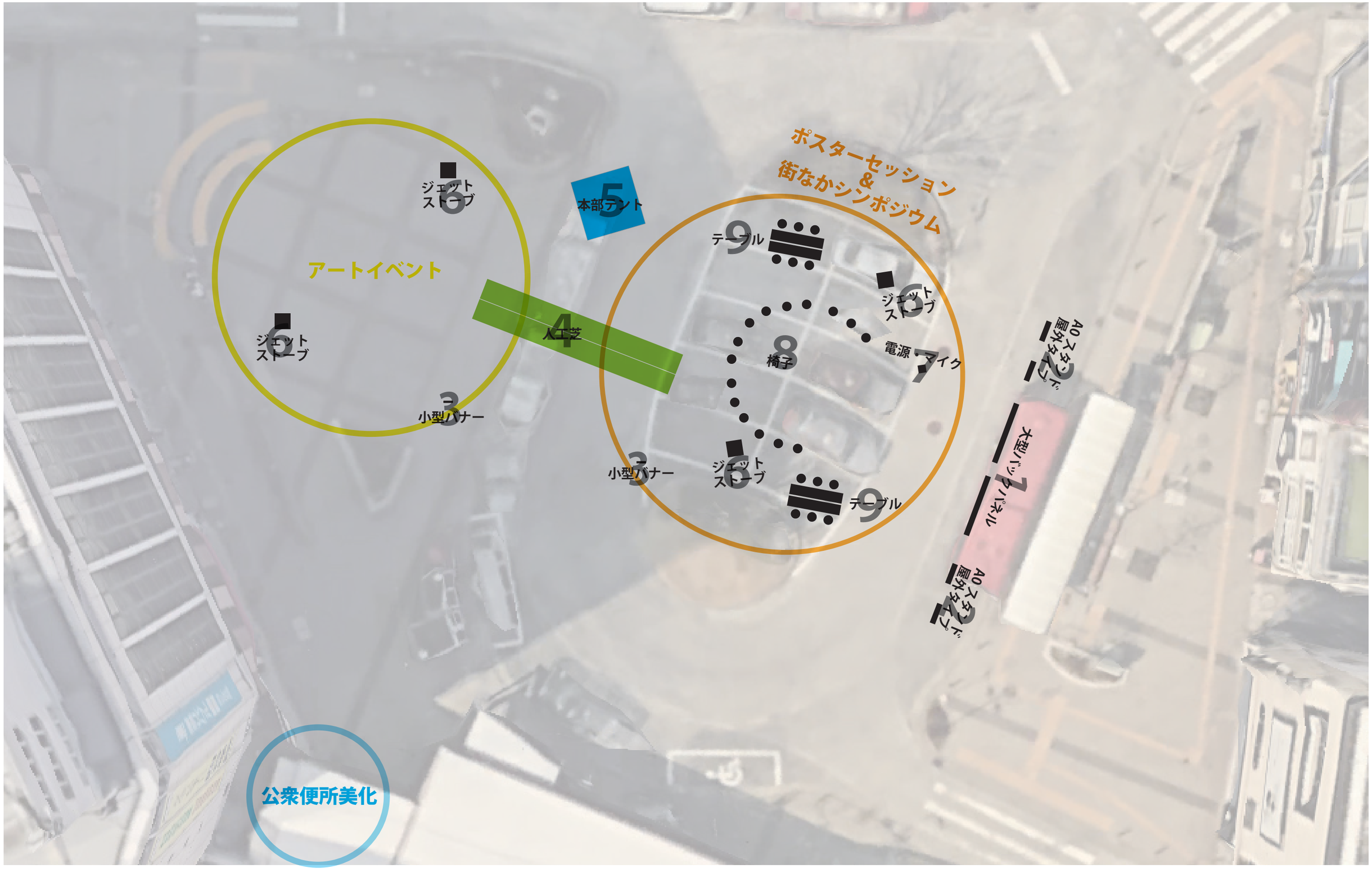




アートイベント


ポスターセッション


街なかシンポジウム


ポスターセッション
&
街なかシンポジウム
アートイベント
本部テント
5
人工芝
4
テーブル
9
ジェット
ストーブ
6
椅子
8
電源
マイク
7
A0ポスター
屋外ボード
2
大型バックパネル
1
小型バナー
3
公衆便所美化

## 1．大型バックパネル（L サイズ２台）



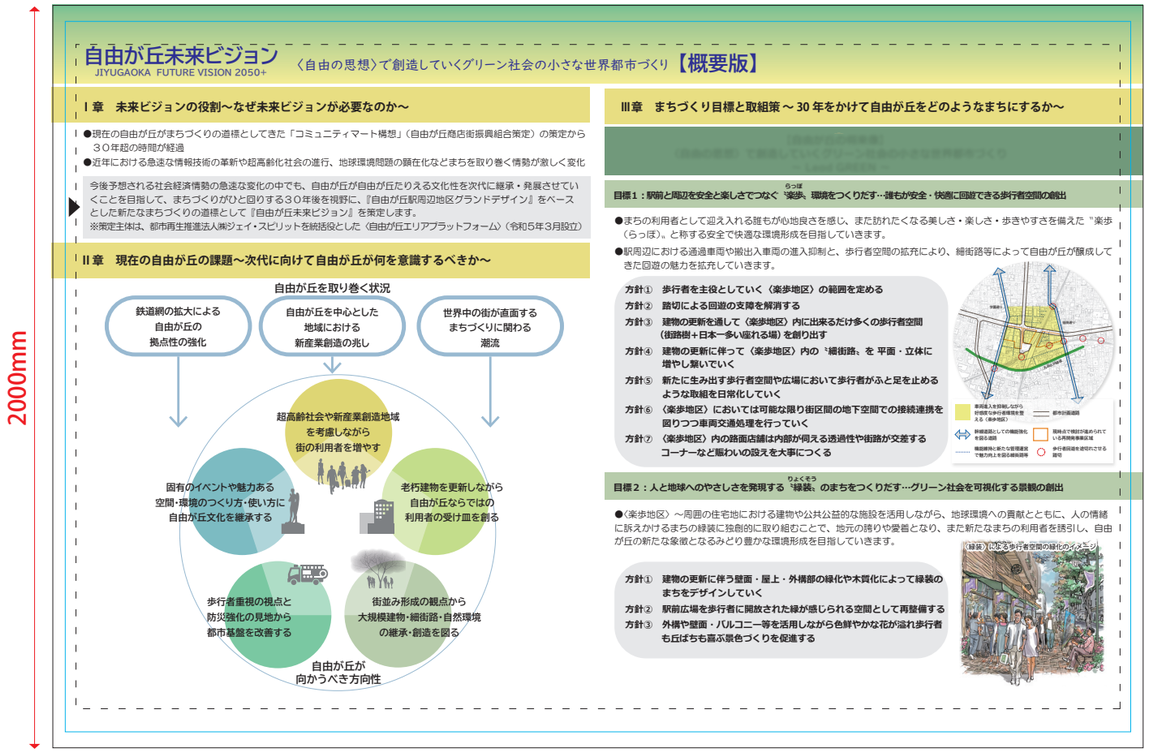




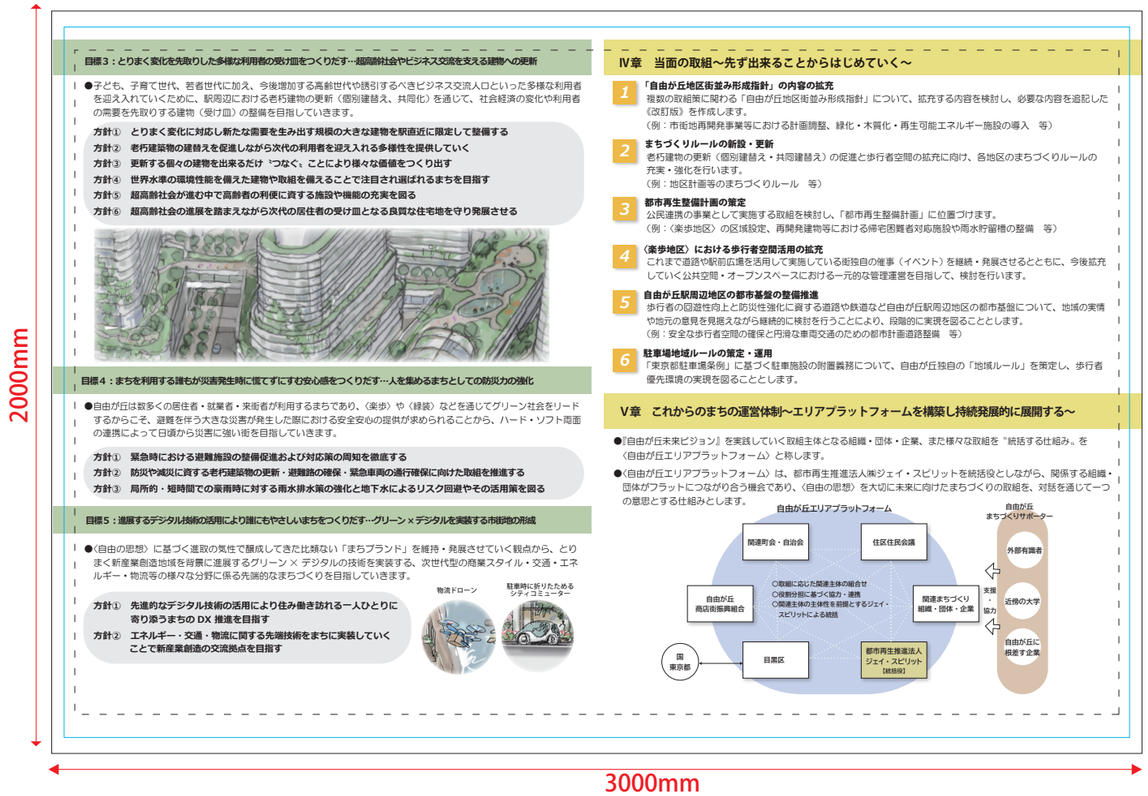



| | | |
|---|---|---|
| スタンド | サイズ | ML共通：W1950×H1700mm×1台<br>XL　　：W1950×H1700mm×2台＋連結パイプ |
| | 素材 | ステンレスパイプ、スタンドスプリング:スチール、バナースプリング:ステンレス、ベースタンク（注水式）:ポリエチレン樹脂成型、バナーキャップ:ポリカーボネイト |
| | 仕様 | 屋外用、片面 |
| | 重量 | 21.6kg（タンク注水時:50kg増（25kg×2）） |
| バナー | サイズ | M　：W2000×H2000mm<br>L　：W3000×H2000mm<br>XL：W6000×H2000mm |
| | 素材 | ターポリン（防炎タイプあり） or メッシュターポリン（防炎タイプあり） |
| | 仕様 | 上下袋加工 |

■表示内容（１台目）




■表示内容（２台目）



## 2．A0 両面スタンド屋外タイプ（4台）




| | |
|---|---|
| 品番 | HPC-A0O |
| 本体サイズ (mm) | W970×H1520×D600 |
| 印刷サイズ (mm) | W841×H1189 (A0サイズ)<br>厚み: 0.7mm以下(推奨0.5mm以下)対応 |
| 重量 | 17kg (タンク注水時43kg) |
| 色 | グレー |
| 本体の材質 | パネル: アルミ<br>タンク: プラスチック |
| 印刷面の素材 | メディア: PP合成紙+マットラミネート加工 |

■表示内容（4台共通）



## 3．小型バナー（2台）



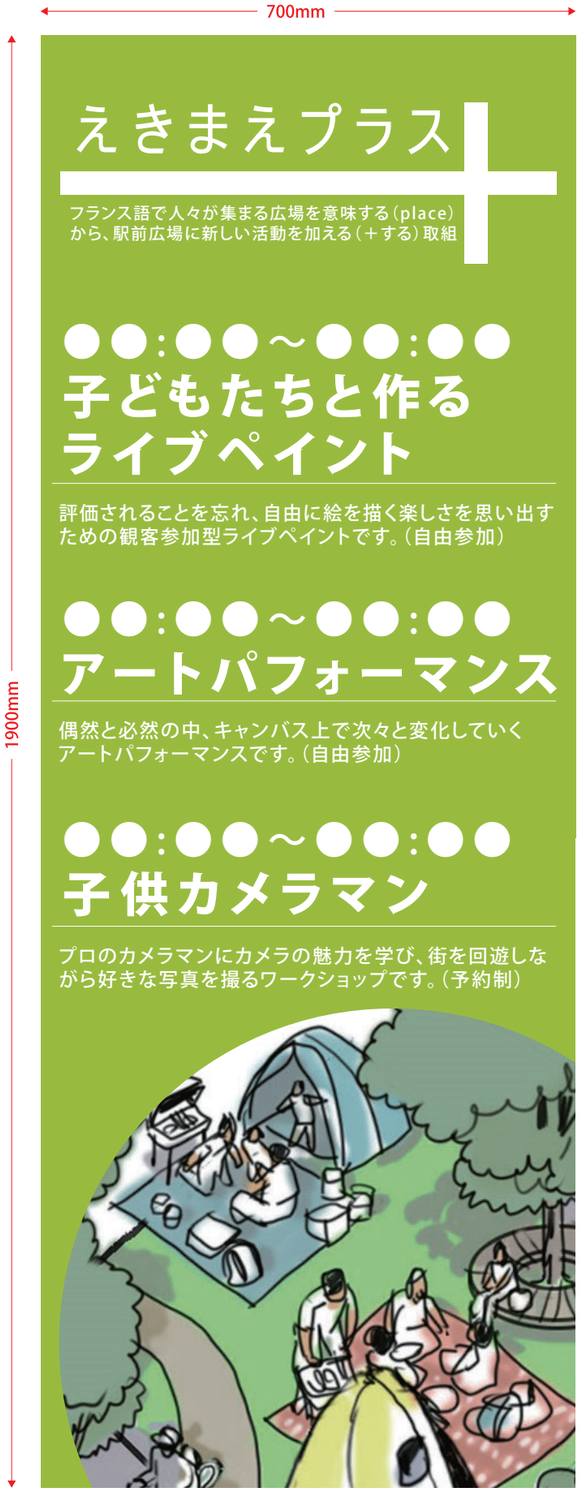



| | |
|---|---|
| 品番 | HPC-QSBY1 |
| 本体サイズ（mm） | W830×H1950×D500 |
| 印刷サイズ（mm） | W450～700×H1600～2000 |
| 重量 | 5.2kg (タンク容量18ﾘｯﾄﾙ) |
| 色 | グレー |
| 本体の材質 | 本体: アルミ・樹脂<br>タンク:ポリエチレン成型品 |
| 印刷面の素材 | 合成紙・ターポリン・PETフィルム・クロスなど<br>※弊社で印刷する場合にはターポリンでご用意させていただきます |

■表示内容（ポスターセッション＆街なかシンポジウム）




■表示内容（アートイベント）



## ポスターセッション

来街者に「自由が丘未来ビジョン」の５つの目標について、どの目標が最も大事と考えるか投票を行ってもらう。

●方法：

• 上段：Ａ型看板に５つの目標と代表するスケッチを掲載

• 下段：シールを貼り付けられるスペースを設ける

●設置数：４台






## 街なかシンポジウム

まち運営会議をタクシープールで実施する。

●参加者：通常のまち運営会議メンバー、希望があれば来街者

●進行：㈱ジェイ・スピリット、㈱ UG 都市建築

●所要時間：１時間



# -REMEMBER-子どもたちと作るライブペイント

## (自由参加)評価されることを忘れ、自由に絵を描く楽しさを思い出すための観客参加型ライブペイント

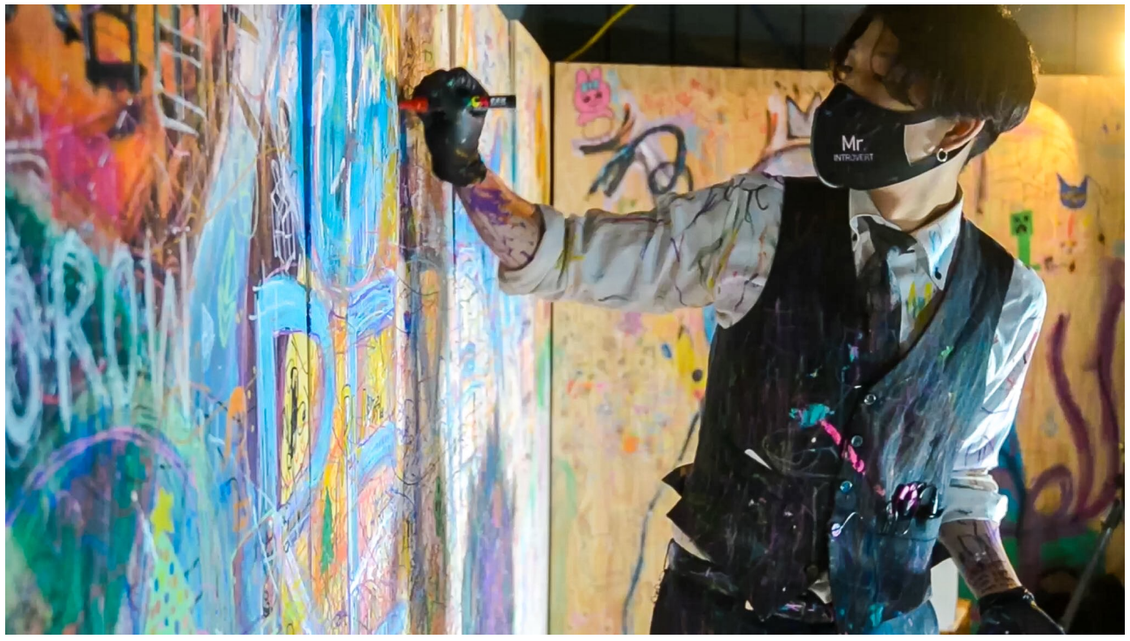
### 秋野イントロ | intro Akino

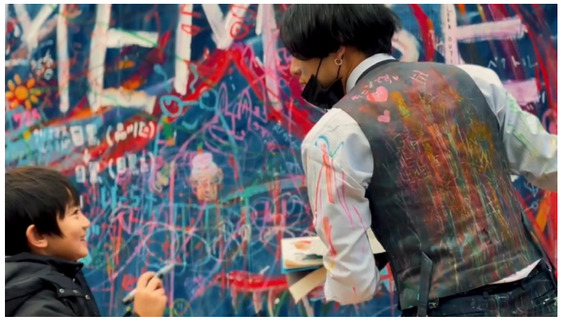
人間性が顕著に現れるものとして「無意識」に着目。無意識的に描写した絵画に対し、意識的な解釈・意味づけを行うことで人間の本質的な姿を捉え、表現することを試みる。

CV
1994 北海道生まれ
2017 国立金沢大学 人間社会学域経済学類 卒業

・個展
2023「内向を覗くとき、」デザインフェスタギャラリー原宿、東京

・ワークショップ
2023「金沢✖自由が丘」子どもたち参加型のライブペインティング
2022「目黒街角Heart&Artクリスマス」子どもたち参加型のライブペインティング
・グループ展
2022 MediaDAO (名古屋)
2023 NFT NYC (ニューヨーク)





2023「金沢✖自由が丘」子どもたち参加型のライブペインティング
参加者の声
「この子本当は絵とか凄い好きなんですけど、学校の図工はこれをやりなさいっていうのがすごく嫌みたいで、こんな機会をくれてありがとうございます」

# 短時間で絵を変化させながら物語を描き綴るアートパフォーマンス

## 偶然と必然の中、キャンバス上で次々と変化していくアートパフォーマンス

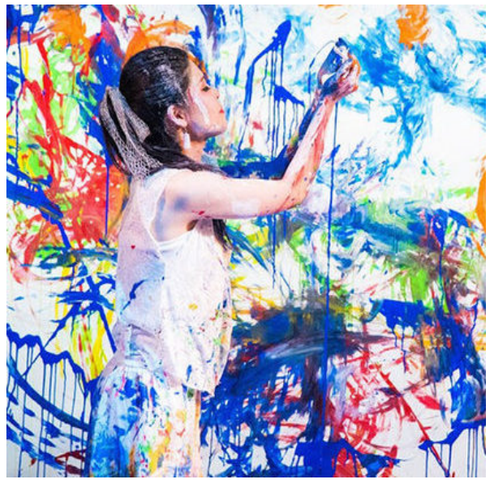
### カラリズムリサ | ColorhythmRisa

ステージ上で音楽に合わせて絵を舞い描くアートパフォーマー。
短時間で絵を変化させながら物語を描き綴る。
中学校美術講師の経験と、ダンスや音楽などのステージ経験をヒントにこの独自のパフォーマンスを生み出す。総合芸術として年齢、国籍関係なく鑑賞出来る舞台を国内外に発信している。
NY発祥のライブペイント大会「Art Battle Japan」や蛯名健一主催のパフォーマンス大会「Like the BEST!」優勝。
「嵐にしやがれ」「マツコ会議」などメディア出演有り。
蛯名健一、→Pia-no-jaC←を招きColorhythm主催のパフォーマンスライブを企画、演出も果たす。

http://colorhythm.main.jp/

2022「しらかばフェスティバル」にてパフォーマンス
2022「マリクレールクリスマス点灯式」にてパフォーマンス











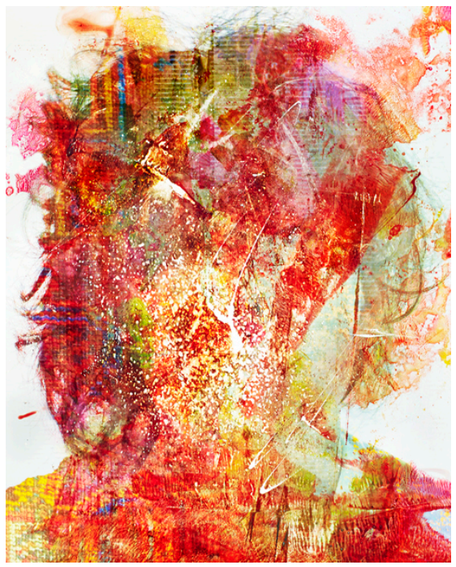



# 街を回遊し子供たちの視点で街の写真を撮る子供カメラマン

## (予約制)プロのカメラマンにカメラの魅力を学び、街を回遊しながら好きな写真を撮るワークショップ(予約制)

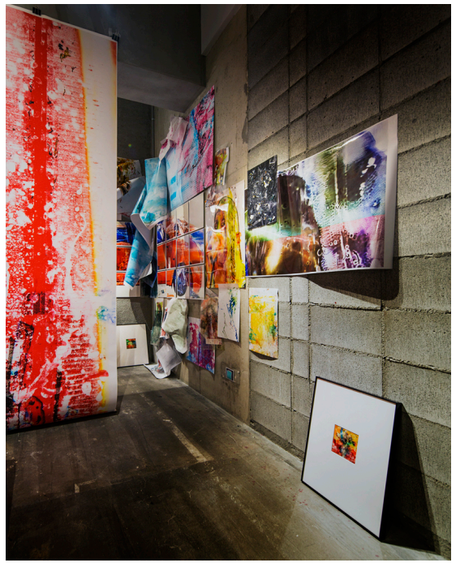
### 石川和人 | Kazuto Ishikawa





1983 –
埼玉県生まれ。2006年、拓殖大学商学部経営学科卒業。
2008年、東京ビジュアルアーツ卒業。





2017年SEZON ART GALLERYにて個展「Humanity」を開催。
同年に「3Days Exhibition」、2016年「New Portrait」など多数のグループ展に参加し、2015年、パナソニック株式会社 / LUMIX特別協賛のもと、IMAプロジェクトが開催している「LUMIX MEETS BEYOND2020 BY JAPANESE PHOTOGRAPHERS #3」に出展。

受賞
2011　第6回TAGBOAT AWARD, 入選
2008　Color Imaging Contest, 入選

「Humanity」シリーズを始め、大量のインクで出力しイメージを重ね合わせる技法によって色が混ざりあい輪郭が曖昧になった被写体を浮かび上がらせ、情報過多の現代における私たちのアイデンティティをテーマに制作しています。